

第 2 回 横浜市中区地区センター指定管理者選定委員会 会議録	
開催日時	令和 8 年 7 月 24 日(金)午後 1 時 15 分～午後 4 時 45 分
開催場所	中区役所本館 7 階 704 会議室
出席者	織茂委員、金原委員、近藤委員、佐藤委員、山本委員(計 5 人)
欠席者	なし
開催形態	公開。ただし、一部は委員会の決定により非公開(傍聴者 0 人)
議 題	1 会議の公開・非公開について 2 指定候補者の選定について
決定事項	1 会議の公開・非公開について 応募団体の面接審査は公開、審議は非公開とすることを決定 2 指定候補者の選定について 各施設の指定候補者を次のとおり決定 (1) 本牧地区センター 株式会社 清光社 (2) 野毛地区センター 一般社団法人 中区民活動支援協会 (3) 竹之丸地区センター 一般社団法人 中区民活動支援協会 (4) 中本牧コミュニティハウス及び上台集会所 一般社団法人 中区民活動支援協会
議 事	1 面接審査 (1) 本牧地区センター 【応募団体】 株式会社 清光社(現指定管理者) ア プレゼンテーション(10 分) 応募団体から、団体概要・事業計画等について説明 イ 質疑応答(20 分) (委員) インターネット予約の割合はどれくらいか。 (団体) インターネット予約は 9 割、残り 1 割は職員が聞き取り代行で予約している。 (委員) インターネット予約の操作は高齢者でも可能か。QRコードを読み取るのか。 (団体) スマホ操作が出来れば可能。QRコードではなく、サイトから予約する。 (委員) 地域資源との連携として、三溪園や本牧神社の記載があるが、具体的な取組は何か。 (団体) 自主事業として三溪園の見学や本牧神社ライトアップ事業への協力がある。 (委員) 参加者はどのような年齢層か。 (団体) 子どもから大人まで幅広い。 (委員) 体育館は LED 化しているのか。また、種目によって部分的に消せるのか。 (団体) LED 化しており、必要に応じてラインごとに消せる。 (委員) 料理室の稼働率が低いのは近年か。それとも昔からか。 (団体) 稼働率は元々低く、コロナ禍でさらに低くなった。 稼働率を上げるため、料理以外の目的でも利用できる運用を今年8月から試行的に開始する予定である。 (委員) 子ども食堂の利用はあるのか。 (団体) 月 2 回程度利用されている。 (委員) 地震や急な大雨の際に、観光客等が押し寄せても問題ないか。

	(団体) 勤務時間中なら対応できる。いったん施設内に待機してもらい、区役所と協議しながら近隣の避難施設に案内するなど対応したい。 (委員) 最後のアピールはあるか。 (団体) 周りに公の施設があり、小中学校や地域との連携があるのが強みで、地区センターが地域のハブとして機能することを提案にまとめた。 地区としての一体感がある本牧において、交通の便も良い中心的な場所にあり、自主事業・貸し館業務ともに、利用を伸ばしていきたい。第5期も着実な運営で本牧地区をますます活性化したい。 (2) 野毛地区センター 【応募団体】 一般社団法人 中区民活動支援協会(現指定管理者) ア プレゼンテーション(10分) 応募団体から、団体概要・事業計画等について説明 イ 質疑応答(20分) (委員) 和室の活用はできているのか。 (団体) 畳部屋で椅子を使えるようにするなど、利用促進を図っている。 (委員) 多様な人々が利用とあったが、具体的にはどのような多様性なのか。 また、どのような対応を取っているのか。 (団体) 中国・韓国籍の方の利用が多い。 施設での取組は、外国籍の方も参加しやすい内容にしている。 (委員) 他の地区センターと利用者層は異なるのか。それによって工夫する点は何か。 (団体) 交通の利便性が高く、中区外に住んでいる利用者が多い。 そのため、中区民の利用者数を増やすことが課題と考える。 自主事業で地域の方が参加したくなるようなコンテンツを展開していきたい。 (委員) 日本人と外国籍の方の利用割合はどうなっているのか。 (団体) 2割程度は外国籍の方。 (委員) 地区センター内で子ども同士の交流はあるのか。 (団体) ロビーの畳スペースでゲームをして交流している姿が見られる。 (委員) 各部屋の稼働率はどれくらいか。 (団体) 全体で7割以上となっている。 (委員) 地震に備えた対応はどのようにしているのか。 (団体) 年2回訓練を実施している。 また、入居している建物の管理組合の防災訓練にも参加している。 (委員) 自主事業をきっかけにしたサークル活動という記載があるが、実績はあるのか。 (団体) 卓球の自主事業から2つの活動団体が生まれた。優先利用枠などの活動支援も行っており、小学生から高齢者までが活動に参加している。 (委員) 最後のアピールはあるか。 (団体) 交通の利便性が高く、区外の方の利用が多いが、酷暑対策を目的とした来館も含めて、近隣の方々の利用を増やしていきたい。 (3) 竹之丸地区センター 【応募団体】 一般社団法人 中区民活動支援協会(現指定管理者) ア プレゼンテーション(10分) 応募団体から、団体概要・事業計画等について説明 イ 質疑応答(20分)
--	---

	(委員) 多様なスポーツ環境の充実として、ピククルボール用のラインを引いた記載があるが、ラケットなどの用意はあるのか。 (団体) 施設には無いが、夏休み期間中に子どもが新しいスポーツに親しんでもらえるように、中区のピククルボール協会から、子どもが利用する際のラケット等の借用やネットの上げ下げの協力をいただくことになった。 (委員) 和室で椅子を使用できるのか。 (団体) 椅子と机を用意している。華道や茶道の他、ヨガやカルタ等で利用されている。 (委員) 利用促進策として、おひとり様でも楽しめる居場所づくりという記載があるが、その提案にはどのような背景があるのか。 (団体) 実際に、卓球をやりたい方が一人で来館されたこともあり、高齢者が一人で来ても楽しめる、地区センターに行けば何かあると思ってもらえる場所にしたい。 (委員) マスコットキャラクター（たけまる）の今後の活用方法は何か考えているのか。 (団体) インスタグラムでの周知等を考えている。 (委員) 図書コーナーの状況はどうなっているのか。 (団体) 毎月 10 冊前後購入。夏休みの課題図書や市の図書館でなかなか借りられない本を中心に選んでいる。 (委員) 収支予算書のうち、研修費が少ない気がする。職員研修は充実するべきと考える。財務状況の詳しい情報開示を行うことで、寄付を募ることもできるかもしれない。 (団体) 団体の顧問税理士とも相談しながら、考えていきたい。 (4) 中本牧コミュニティハウス及び上台集会所 【応募団体】 一般社団法人 中区民活動支援協会（現指定管理者） ア プレゼンテーション(10 分) 応募団体から、団体概要・事業計画等について説明 イ 質疑応答(20 分) (委員) 上台集会所は災害時の避難所になると思うが、職員の研修は行っているのか。 (団体) 防災関連の研修は実施しているが、避難所として開設した場合は区役所の職員が管理運営することとなる。 (委員) 子どもも高齢者も和式トイレの使用は難しいが洋式化しているのか。 (団体) トイレは洋式と和式があり、和式は、1 階と 2 階に各 1 か所ずつ残っている。 (委員) 地域コーディネート機能に対する取組として記載がある本牧ライトアップの 1000 個のランタンは、どのように準備しているのか。 (団体) 施設が材料を用意し、施設利用者や近所の子ども達が作ってたものを飾っている。 (委員) 高齢者の生きがいや健康づくりの事業への参加状況はどうか。 (団体) 参加者は多く、ヨガは定員 20 名が募集開始後すぐに埋まる状況。 (委員) 実施できなかった自主事業があるが、理由は何か。 (団体) 中止の理由は、講師の方の体調不良。 (委員) 上台集会所は、地域の方以外も利用できるのか。 (団体) 団体登録をすれば利用可能。 (委員) 団体登録にはどれくらいの時間がかかるのか。 (団体) 1週間程度で登録が完了する。 (委員) 中本牧コミュニティハウスの利用者の特性は。 (団体) プレイルームや併設の遊び場を中心に、幼児や小学生の利用者が多いのが特徴。 (委員) 外国籍の方の利用者はいるのか。 (団体) 近所にお住まいの利用者が多く、9 割は日本人の方だが、中国籍の方の利用もここ
--	--

	数年増えている。 (委員) 中本牧コミュニティハウスの屋上は広いと思うが、活用しているのか。 (団体) 空調の室外機が設置されている状況で、他の活用は難しい。 (委員) 多国籍の方を意識した施設案内のピクトグラム化等は検討しているのか。 (団体) 今後の課題としたい。 (委員) 最後のアピールポイントはあるか。 (団体) 中本牧コミュニティハウス・上台集会所ともに地域に溶け込んだ施設。 これからも地域に愛される施設、また地域に貢献できる施設運営を目指したい。 2 応募団体の欠格事項の該当有無及び財務状況について報告 事務局から各応募団体について、関係機関への照会を行い「市税等を滞納していないこと」や「暴力団又は暴力団経営支配法人等ではないこと」の確認や、そのほかの欠格事由にも該当しないことの確認を行っている旨を報告。また、税理士の委員から各応募団体の財務状況について、今後5年間の指定管理期間における施設の管理運営に支障はないことが報告された。 3 指定候補者の選定 各委員による評点を集計した結果、全ての応募団体が最低基準点(加減点項目を除く評価基準項目の合計満点の6割以上)を満たしており、各施設の指定候補者が次のとおり決定された。 (1) 本牧地区センター 株式会社 清光社 (得点:689 点/満点:900 点) (2) 野毛地区センター 一般社団法人 中区民活動支援協会 (得点:648 点/満点:900 点) (3) 竹之丸地区センター 一般社団法人 中区民活動支援協会 (得点:660 点/満点:900 点) (4) 中本牧コミュニティハウス及び上台集会所 一般社団法人 中区民活動支援協会 (得点:622 点/満点:850 点) 4 その他 (委員長) 議事録及び区長へ提出する報告書の作成は事務局で行い、委員長に確認した上で確定ということよろしいか。 (委員) 異議なし
資 料 ・ 特記事項	1 資料 なし 2 特記事項 なし